

<塾長メッセージ>

塾生の皆様へ

2020年4月7日(火)

GWが終わるまでに新学年の教科書を予習しよう

— 2020年度は「家庭学習」の年にしよう —

開倫塾

塾長 林明夫

1. いよいよ新学年を迎える時期になり、栃木県・茨城県・群馬県の3県では学校が再開されましたが、東京都は緊急事態宣言が発令されたためにGW明けまで学校の休校が続きます。
2. 学校が休校になり、また、再開されても土日は全面的にお休みで、部活動など教科外の活動が大幅に縮小されるため、家庭で過ごす時間が3月同様とても多くなります。この状態は、1年くらいは続くと思われれます。「ピンチはチャンス」ということばがあります。開倫塾では、4月からの2020年度を「家庭学習」の年と考え、塾生の皆様の「家庭での学習」を全面的にご支援いたします。困ったことがあったら何でもご相談ください。
3. さて、この時期は多くの学校から新年度の教科書が配付されていると思います。新年度の教科書が学校から配付されたらどうするか。GW(ゴールデンウィーク)が終わるまでに1教科でも多く、教科書を最後まで読み切ってしまうこと、予習をすることをお勧めします。最後まで読むのが大変でしたら、1教科でも多く半分くらいまで、読み切ってしまう、予習をすることをお勧めします。
4. どのように新学年の教科書を読み切るか、予習をするかは、3月17日刊の「塾生ハンドブック2020」に詳しく書きましたので、じっくりとお読みください。
5. <受験生の皆様に一言>申し上げます。
学校休校や学校が早く終わる、GW終わりまでのこれからの「1か月間」は、よく考えれば「受験勉強」をスタートする絶好の時期です。「1か月間」も1日中机に向かって勉強できる期間は、そうあるものではありません。「自分の未来は自分で切り開く」、どんなに難しい学校でも「第1志望校合格は自分の手で勝ち取る」と決意して、GWが終わるまで「受験生としての自覚」を持ち、受験勉強に専念してください。
6. 開倫塾で自学自習を希望する人は、保護者の皆様や開倫塾の校長先生と相談し、万全の感染防止策を講じて勉強に励んでください。
7. 苦しく、不安なのは皆同じです。困ったことがあったら遠慮なく開倫塾の先生方に相談してください。
8. 「塾生ハンドブック2020」は、開倫塾の塾生の皆様の学校休校や学校が正常化するまでの期間の「家庭学習」にお役に立てばとの思いで、2月28日から20日間かけて私が執筆しました。これから1年間くらい、この状態は続くと思いますので、2021年3月まで、毎日少しずつ読み、少しずつでもOKですからチャレンジし、すべてを自分のものとしてご活用ください。必ずお役に立ちます。では、がんばってください。